# 委託事業実施内容報告書

# 平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

# 【日本語教室の設置運営】

受託団体名 有限会社 大泉日伯センター(日伯学園)

## 1 事業の趣旨・目的

この取組は、教育するもの、されるもの双方に大きな意義をもつ。特に、ブラジル人学校全日制で学んだ青年は、現在もポルトガル語を第一言語としながら、よりレベルの高い日本語習得を目指す「学習者」でもある。彼らが「学習者」としての立場を超え、この教室で「講師」となって初級の日本語を教えることにより、自身の日本語の基礎をより確実なものにすることができる。また、この教室の受講対象者である小学生年齢相当の日本語初級学習者にもより身近な存在であり、彼らを具体的な「モデル」として学習に取り組むことができる。日本語学習を早期に始めることは、日本への定住傾向や国境間を複数回移動する在日ブラジル人の生活パターンと照らし合わせると、ぜひとも取り組むべき課題である。特に、漢字検定への挑戦を教室の課題としたい。漢字の習得は、日本の文化を理解する一助となるからである。ちなみに、当学園は漢字検定試験の準会場の資格を取得しているため、受験者の交通費などの負担はほとんどない。そして、今後も続くであろう、地域のブラジル人居住者の日本語学習需要に対応できる日系人教育者の層を拡大することも事業の狙いの一つである。

## 2 運営委員会の開催について

### 【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月21日	NPO 大泉国	野山 広	•教材設定	・曜日別にグループ別に担
	際教育技術	拝野寿美子	•担当者(曜日別)	当者を決める。
	普及センター	高野 祥子	・担当者の予習につ	・リーダーを2名決め、グル
	会議室	戸澤江梨香	いて	ープ管理。
		中西 智美		・毎時間終了後に日報を書
		阿部勇次郎		き、引き継ぎをできるように
		戸澤 順		する。
		新垣 真一		・問題があれば、迅速に対
		松島ジオゴ		処できるようにする。(いつ
				でもリーダー会議をできる

				ようにする。
7月22日	NPO 大泉国	野山 広	<ul><li>・いままで実施してい</li></ul>	・子供たちが指導者になる
	際教育技術	拝野寿美子	たなかでの問題点、	ため、グループ内での統率
	普及センター	高野 祥子	質疑等。	をとるのが難しくなり、リー
	会議室	戸澤江梨香	・このままの体制で問	ダーの精神的負担も出て
		中西 智美	題はないか。	きている。この様なときは、
		阿部勇次郎	・リーダーの負担はな	授業終了後に講師、コーデ
		戸澤 順	いか。	ィネーターが会議を持つよ
		新垣 真一	・その他	うにし、フォローする。
		松島ジオゴ		

# 【写真】





# 3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 ・夏季子供向け漢字検定講座「ブラジル人先輩から学ぶ「初めての日本語」」
- ② 開催場所 日伯学園 ネスポ校舎
- ③ 学習目標

特に、ブラジル人学校全日制で学んだ青年は、現在もポルトガル語を第一言語としながら、よりレベルの高い日本語習得を目指す「学習者」でもある。彼らが「学習者」としての立場を超え、この教室で「講師」となって初級の日本語を教えることにより、自身の日本語の基礎をより確実なものにすることができる。また、この教室の受講対象者である小学生年齢相当の日本語初級学習者にもより身近な存在であり、彼らを具体的な「モデル」として学習に取り組むことができる。日本語学習を早期に始めることは、日本への定住傾向や国境間を複数回移動する在日ブラジル人の生活パターンと照らし合わせると、ぜひとも取り組むべき課題である。特に、漢字検定への挑戦を教室の課題としたい。漢字の習得は、日本の文化を理解する一助

となるからである。ちなみに、当学園は漢字検定試験の準会場の資格を取得しているため、受験者の交通費などの負担はほとんどない。そして、今後も続くであろう、 地域のブラジル人居住者の日本語学習需要に対応できる日系人教育者の層を拡大することも事業の狙いの一つである。

- ④ 使用した教材・リソース 独自の学習プリントおよび漢字検定問題集
- ⑤ 受講者の募集方法 地域のブラジル人商店にポスターを掲示および配布でよびかけるほか、知人、友人 など人的ネットワークを駆使する。
- ⑥ 受講者の総数 48 人(延べ人数ではなく, 受講した人数を記載すること。)
- ⑦ 開催時間数(回数) 50 時間 (全 50 回)
- ⑧ 日本語教室の具体的内容

□	開催日時	時間数	参加	国籍・母語(人)	教授者•補	内容
			人数		助者人数	
1	5月24日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・ひらがな学
	15:30-16:30			ル語(45人)	補助者4人	習(あ~お)
						• 発音
						・単語
2	5月26日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	<ul><li>ひらがな学習</li></ul>
	15:30-16:30			ル語(45人)	補助者4人	(か~こ)
						・発音
						・単語
3	5月28日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・ひらがな学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(さ~そ)
						・発音
						・単語
4	5月31日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・ひらがな学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(た~と)
						・発音
						・単語
5	6月2日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・ひらがな学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(な~の)
						・発音
						・単語
6	6月4日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・ひらがな学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(は~ほ)

						• 発音
						・単語
7	6月7日	1 時間	45 人		教授者3人	<ul><li>ひらがな学習</li></ul>
	15:30-16:30		,	ル語	補助者4人	
				ны	11023 11 . 7 4	· 発音
						・単語
8	6月9日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	
						・発音
						・単語
9	6月11日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	ひらがな学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(ら~ろ)
						・発音
						・単語
10	6月14日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・ひらがな学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(わ~ん)
						・発音
						・単語
11	6月16日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・ひらがな学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(が~ご)
						・発音
						・単語
12	6月18日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・ひらがな学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	・(ざ~ぞ)
						・発音
						・単語
13	6月21日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・ひらがな学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(だ~ど)
						・発音
						・単語
14	6月23日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・ひらがな学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(ば~ぼ)
						・発音
						・単語
15	6月25日	1 時間	45 人		教授者3人	・ひらがな学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(ぱ~ぽ)

						• 発音
						・単語
16	6月28日	1 時間	15 J	 ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	<u>+ 品</u> ・ひらがな学習
10	15:30-16:30	I HAT [H]	40 /	ル語	補助者4人	(や~つ)
	13.30 10.30				開助日 4 八	· 発音
						・単語
17	68300	1 吐用	1E I	ブラジル国・ポルトガ		
17	6月30日	1 時間	40 人		教授者3人	・テスト
10		1 0+88	45 1	ル語	補助者4人	・ゲーム
18	7月2日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・新聞ゲーム
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	
19	7月5日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ 	教授者3人	・カルタ
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	
20	7月7日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・カタカナ学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(ア~ォ)
						・発音
						・単語
21	7月9日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・カタカナ学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(カ~コ)
						・発音
						・単語
22	7月12日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	<ul><li>カタカナ学習</li></ul>
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(サ~ソ)
						・発音
						・単語
23	7月14日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・カタカナ学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(タ~ト)
						• 発音
						・単語
24	7月16日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・カタカナ学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	・(ナ~ノ)
						・発音
						・単語
25	7月21日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・カタカナ学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(ハ~ホ)
						・発音
						・単語
	l	l			<u> </u>	

26	7月23日	1 時間	44 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・カタカナ学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(マ~モ)
						・発音
						・単語
27	7月26日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	<ul><li>カタカナ学習</li></ul>
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(ヤ~ヨ)
						• 発音
						・単語
28	7月28日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・カタカナ学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(ラ~ロ)
						・発音
						• 単語
29	7月30日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・カタカナ学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(ワ~ン)
						・発音
						• 単語
30	8月2日	1 時間	43 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・カタカナ学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(ガ~ゴ)
						・発音
						・単語
31	8月4日	1 時間	43 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・カタカナ学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(ザ~ゾ)
						・発音
						• 単語
32	8月6日	1 時間	44 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・カタカナ学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(ダ~ド)
						• 発音
						• 単語
33	8月9日	1 時間	43 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・カタカナ学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(バ~ボ)
						• 発音
						・単語
34	8月18日	1 時間	39 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・カタカナ学習
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(パ <b>~</b> ポ)
						・発音
						・単語

0.5	0.000	1 54 55	00 :	<b></b>	*LIE + - '	
35	8月20日	1 時間	39 人		教授者3人	・テスト
	15:30-16:30			ル語ブラジル国・ポル	補助者4人	
				トガル語		
36	8月23日	1 時間	40 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・カルタ
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	
37	8月25日	1 時間	44 人		教授者3人	・新聞ゲーム
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	(カタカナ)
38	8月27日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・しりとりゲー
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	ム
39	8月30日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・テスト
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	・しりとりゲー
						ム
40	9月1日	1 時間	45 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・日本語で家族
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	の紹介
41	9月3日	1 時間	42 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・日本語で自分
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	の好きなもの
						を紹介
42	9月6日	1 時間	41 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・自分の名前・
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	家族の名前を
						書く
43	9月8日	1 時間	41 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・グループに分
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	かれインタビ
						ュー
44	9月10日	1 時間	42 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・インタビュー
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	をメモする
45	9月13日	1 時間	42 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・メモを皆の前
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	で発表する
46	9月15日	1 時間	42 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・メモを皆の前
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	で発表する
47	9月17日	1 時間	44 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・音読発表
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	
48	9月22日	1 時間	44 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・音読発表
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	
49	9月24日	1 時間	44 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・音読発表
	15:30-16:30			ル語	補助者4人	
50	9月27日	1 時間	44 人	ブラジル国・ポルトガ	教授者3人	・まとめのテス
		•	•	•	•	

15:30-16:30	ル語	補助者4人ト	
-------------	----	--------	--

# ⑨ 特徴的な授業風景(2~3回分)

(特徴が最もよく表れた日の授業報告を詳細に記載。また, 教室風景の写真を数枚添付。)

J

















# ⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
安里 リカルド	ポルトガル語(ブ	16年	50回	授業補助,通訳
	ラジル)			
長井 フランシーネ	ポルトガル語(ブ	12年	40回	授業補助,通訳
	ラジル)			
中曽根 パトリシア	ポルトガル語(ブ	15年	30回	授業補助,通訳
	ラジル)			
福田 ジャケリーネ	ポルトガル語(ブ	13年	10回	授業補助,通訳
	ラジル)			
岩本 カミラ	ポルトガル語(ブ	16年	20回	授業補助,通訳
	ラジル)			
上田 ラファエル	ポルトガル語(ブ	13年	20回	授業補助,通訳
	ラジル)			
島袋 アルベルト	ポルトガル語(ブ	10年	20回	授業補助,通訳
	ラジル ) 授業補			
	助, 通訳			
齋藤 ビアンカ	ポルトガル語(ブ	15年	10回	授業補助,通訳
	ラジル)			

#### ① 支援者の名簿(⑩以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語	参加回数	当該教室での
		教育に関する資格		役割
野山 広	国立国語研究所	日本語教育基盤情報	2回	アドバイザー
		センター整備普及グ		
		ループ長		
拝野 寿美子	神田外語大学 非	ポルトガル語専攻	4回	アドバイザー
	常勤講師			

# 4 事業に対する評価について

#### ① \*当初の学習目標の達成状況

この講座は冬季同講座との連続性を持っているものであり、今期の講座では、日本語初習の子どもたちに対して、特にひらがな及びカタカナを中心に学習した。学習目標であった、ひらがな・カタカナの習得については、ほぼ目標通り達成することができた。漢字検定には35人が挑戦し、合格者も19人と多く、この教室の成果が目に見える形で表れることとなった。学習者の授業参加もほぼ全員が9割を超す出席率での参加となっている。

また、副次的目標であった、「講師」の成長も著しい。講師を担当した者の中には、日本語能力試験 N1級に挑戦し、合格した者も含まれている。2007 年から始まった「先輩から学ぶ日本語教室」という体制が確実に定着しており、受講者および講師の日本語習得に好影響を与えていることが確実となっている。来年度以降も、地域のブラジル人居住者の日本語学習需要に対応できる日系人教育者の層を拡大するために、当教室の受託を継続していきたい。

#### ② 学習者の習得状況

受講者の多数がひらがなおよびカタカナの読み書きを習得した。簡単な日本語の単語についても習得し、簡単な読み物の読解ができる程度になった。受講者によっては、複数の漢字を習得するにいたった。

# ③ 日本語教室設置運営の効果,成果

当日本語教室は確実に定着しており、広く認知されている。受講者にとって講師が身近な「成長モデル」であることや、継続的な設置により、数年前の「受講者」が今回の「講師」となっている事例も散見されるようになっている。

# ④ 地域の関係者との連携による効果,成果 等

この教室に関わっている地域の関係者も既に数年以上支援を継続している。ブラジル人の子どもたちに特徴的な日本語習得のプロセスなども含めて、年数を経るごとに教授ノウハウが地域に蓄積されてきている。

- ⑤ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)
  - a. 現状

初習者向けの講座であることから、この講座を修了した受講者に対する継続的な学習機会を保障する必要性がある。

また、「身近な先輩」が講師であることにより、教室における緊張感が時に緩むことがある。

講師には受講者がどのような学習をしたかを日誌に記入させ、具体的な学習目標を講師同士で共有するように工夫している。

#### b. 今後の課題

上記の「現状」を踏まえ、修了者に向けて次のステップを企画する必要がある。日本語 教室という具体的な場を提供することなしに、子どもたちの自主的な学習に期待するの は現実的ではない。

何でも質問できる雰囲気を維持しつつも、教室における一定の緊張感の持続させることが課題である。

## c. 今後の活動予定,展望

上記の「課題」を踏まえ、来年度以降も当日本語教室の受託申請をしている。受託できた際には、今回の受講者への積極的な参加を呼び掛け、1ステップ上の学習ができるよう、準備していきたい。講師についても、人に教えるためには自らが勉強し続ける必要があることを十分認識しているので、大人の支援者からの声かけにより、常に講師の学習状況を把握するなどしていきたい。ゆるやかで、重層的なチームティーチングを目指している。

③その他参考資料(受講生に対してアンケート等があれば添付してください。)

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えのないものを添付すること。